

分かち合い、共に未来を創造する子どもたちをめざして…

縦割り創造活動号 No. 5



プロジェクト活動、ゴールの日

冬の1日創造活動

2月25日(火)の3時間創造活動では、各組がプロジェクト活動のゴールを迎えました。これまでの成功や失敗を生かして再チャレンジするクラスや、これまでの活動をふり振り返りつつ喜びを味わうクラス等、ゴールの形は様々でした。多様な「ひと・もの・こと」と関わり、憧れや夢を抱いて取り組んでいたからこそ実感できたことがあったのではないのでしょうか。1年生から6年生が揃って過ごす時間は、残りわずかです。「よかったね」「ありがとう」と、みんなで分かち合って本年度を締めくくれたらと思います。



緑1組

自分たちが作ってきたアニメーションづくりの楽しさと大変さを、全校生に知ってもらいたいと、体験教室を開催。黒板アニメーション・ジャンプカット・パラパラ漫画をお客さんに教える中で、「みんなが喜ぶ」ことを改めて考えられました。



緑2組

遂にマリエものひみつ道具100個が揃いました。最後の3時間創造活動では、これまで磨いてきた発想力と技術、チームワークを生かして、一人一人がピタゴラマリモに挑戦！出来上がったどの作品も、それぞれの個性があふれた素晴らしいものでした。



緑3組

今までプロジェクト活動でお世話になった人に感謝の気持ちを伝えるべく、「緑3組の恩返し」というイベントを開催しました。ポッチャやテニスの体験、オリンピック・パラリンピックのクイズなどをして、楽しんでもらいました。車椅子バスケットボールの講師の方や幼稚園の園児、保護者の方にも多数お越しいただき、大変盛り上がりしました。



緑4組

ものづくりの大変さを改めて感じた冬の1日創造活動を契機に、「みどよん工房」の最後の活動として、自分たちが納得するものづくりにチャレンジしてきました。一人一人が自分の持ち味を発揮し、学年を越えて関わり合いながら完成することができました。



緑5組

アルミ缶集めで貯めた資金をもとに、パーティーを開きました。みんなでゲームをして遊んだり、協力してくださった方とこれまでの活動を振り返ったりしました。緑5組も参加者も楽しむことができました。



緑6組

お客さんは少なかったですが、自分たちのパフォーマンスをしっかりと見てもらえるように、見る順番や発表場所を考えて、見せ方を改善していきました。今までの練習を通して、自分たちの技を磨き抜いていくことができました。



白1組

これまでの展示や出会った「ひと、もの、こと」についての振り返りをじっくり行いました。活動の転機となった場面や、友達と協力して壁を乗り越えたことを発表し合い、改めて自分たちの活動の意味付けができました。



白2組

第4回がちゃがちゃのテーマは「アニマルガチャ」でした。粘土で作った動物やプラバンで作った動物ストラップを入れました。今回用意した約200個のカプセルも見事完売。ガチャを回した時のお客さんの笑顔は最高でした。



白3組

第2回ダンボール遊園地を開催しました。前回の反省点を生かし、ゲームを増やしてお客さんが何度も遊べるようにしました。「楽しかった」とたくさん言ってもらい、活動のよさを実感しました。



白4組

最後のゆるスポーツ大会を開きました。ルールや道具等、1から全て準備しました。お客さんも、自分たちも、誰でも楽しめるゆるスポのよさを改めて実感し、「みんなが楽しめる」とはどういうことか深く考えられました。



白5組

最後のカフェは自分たちのために開きました。これまでは店員という立場だったのが、お客さんの立場となり、会話を楽しんだり、ジュースをゆっくりと味わったりすることができ、まさに「みんなとつながるカフェ」となりまし



白6組

記念品の梅の花マグネットを400個近く完成させました。配るための箱に飾り付けをして数を数えて振り分け、渡せるように準備を行いました。様々なメンバーで繰り返し班活動をしてきたことでみんなとても仲良くなりました。



赤1組

番組の最後に、感謝の気持ちを放送するため、ドミノで様々なものを表現しました。アリガトウという文字を作ったり、イラストを間に入れて工夫したりと、1年間の思いが随所に表れるものになりました。ドミノが倒れても互いに励まし合う姿は立派でした。



赤2組

umieの方へ動画を送ることができました。動画だけでなく、見てほしいポイントをまとめたポスターも添えました。また、今までに制作した、トリック動画を全校生に見てもらおうと、その計画、実施を考えました。



赤3組

コロナウイルスの感染拡大のため、残念ながら丸亀町商店街でのイベントが中止となりました。お世話になった先生方へのドッキリをしたり、みんなで他の縦割り学級の活動に参加したりと、最後の3時間創造活動を満喫しました。



赤4組

最後の3時間創造では、1~6年生が6つのグループに分かれ、コントを見せ合いました。1時間程度の準備時間でしたが、折り紙を使った劇や昔話を題材にしたコントなど、各グループとも創造性を発揮したネタを披露しました。大爆笑で終わりました。



赤5組

全員でサッカーの試合を楽しみました。学年の差など関係なく声を掛け合い、笑顔あふれるひとときを過ごせました。試合後、肩を抱き合い、健闘を讃えるメンバーの姿から、古き良き地域集団の姿を連想することができました。



赤6組

子どもが住みたい家を共同開発した企業の方から「ゼロワンアンバサダー」のバッジをいただきました。0から1を生み出す創造性溢れる社員の証だそうです。子どもの発想と大人の実行力が生み出した家が、もうすぐ世に出ます！